

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 24 年 6 月 21 日 (2012.6.21)

【公開番号】特開 2011-125043 (P2011-125043A)
 【公開日】平成 23 年 6 月 23 日 (2011.6.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-025
 【出願番号】特願 2011-5325 (P2011-5325)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 40/20 (2009.01)

H 0 4 W 84/18 (2009.01)

H 0 4 W 64/00 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 3 5 3

H 0 4 Q 7/00 6 3 3

H 0 4 Q 7/00 5 0 9

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成 24 年 5 月 8 日 (2012.5.8)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 1 3
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 1 3】

他の観点によれば、方法は、どのノードチャネルを利用するかを決定することと、信号強度測定値およびルーチング状態を集めることを含むことができる。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 7 3
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 7 3】

図 1 3 を参照すると、図 1 2 を参照して図示され説明されたネットワークと類似する自己設定アドホックネットワークを構成するために、WLAN および / または WWAN 技術を利用するための手順 1 3 0 0 が図解される。方法は 1 3 0 2 において始まる。各ノードは、その GPS 座標を示すために WWAN チャネルを利用する。これは NM システムに通信することができる。1 3 0 4 において、各ノードのロケーションの知識を有する NM システムはインシタルトポロジを作成することができる。トポロジは、ノードとノードから、ファイバにより WAN に接続されたノードへの異なるルートとの間の豊富な接続性を得るように設計される。また、1 3 0 6 において、NM システムは使用されるチャネル並びにルーチングを決定することができる。1 3 0 8 において、各ノードに関係する情報は、WWAN にダウンロードすることができる。ワイヤレスホットスポットがアクティブになると、1 3 1 0 においてさらなる測定を収集することができる。1 3 1 2 において、受信された信号強度は、NM システムに送信することができる。NM システムは、実際のフィールド状態を考慮するためにインシタルトポロジとルーチングを利用することができる。さらに、アクセスポイントは、自分自身を同期させるために WWAN により発生されたタイミング情報を利用することができる。